

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】新見市哲多町花木

【時代】不明

【指定年月日】昭和61年6月1日

【所有】個人

【見学】可

だいちんじのつくばね

大椿寺のツクバネ

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

このツクバネは、^{だいちんじ}大椿寺にあり、形が珍しいので多くの人
持ち帰り移植しますが、^{はんきせいしょくぶつ}半寄生植物のため活着しづらいよう
す。また^{しろだにおくせんごくさん}城谷奥仙石山付近、^{こうのいえてんのうさん}蚊家天王山、^{ふなぼら}舟原の鳥居付近にも
自生しています。ツクバネは、山地に生じる丈の低い木で、
^{じゅこう}樹高2~3m、^{だえんけい}葉は長い楕円形で先端は尖り、^{とが}2枚が対になって生
えます。^{しゅういしゅ}雌雄異株で6月頃枝の先に^{めばな}雌花を単生し、^{おぼな}雄花は数個
^{そうせい}叢生し^{ほう}開花後に果実ができます。苞4個は果実と共に残り、形が
羽子板の羽根に似ているところからその名が付けられました。